



高萩市長
小田木 真代

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成30年の清々しい新春をお健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中は市政へのあたたかいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、本市の「復興のシンボル」である新庁舎が無事完成し、9月19日から新庁舎で業務を開始いたしました。

新庁舎は、東日本大震災からの「復興のシンボル」であり、これからの高萩市の街づくりの拠点でもありますので、多くの皆様に親しまれ、ご利用いただける場所となるよう、職員一同、気持ちを新たに、市民サービスの向上に努めて参ります。

また、昨年は4月から半年間、NHK連続テレビ小説「ひよっこ」が放送され、女優の有村架純さんが

演じる主人公みね子の実家がある「奥茨城村」の撮影が本市で行われたこともあり、秋の紅葉シーズンの入込客数は、対前年度比32・8%増の約7万6千人の観光客が本市を訪れたことから、本年も交流人口拡大に向け、市のPRに努めて参ります。

また、昨年4月から新たな補助制度として創設いたしました「明るい街並み（防犯灯LED化）推進事業補助金」につきまして、市内の全防犯灯のうち、概ね30%超のLED化が図られております。今後もし引き続き、自治会等で管理している防犯灯のLED化を支援して参りますとともに、自治会等コミュニティ活動の活性化に繋がることを期待しております。

次に、都市計画道路3・5・9号線安良川赤浜線（南伸）の事業化（国道461号から南側の区間）につきまして、この路線は、災害時の緊急輸送道路としての役割とともに、市民生活の利便性の向上も図れる重要な路線であることから、引き続き国、県へ要望をし、早期着工、早期整備に努めて参ります。

次に、幼児教育・保育環境の整備につきましては、公立幼稚園及び保育所施設の老朽化が進んでいることや耐震診断の結果などから、安全・安心な子育て環境を整える

ため、市民ニーズに合った新たな施設の整備に向けて、引き続き検討して参ります。

私が就任以来、最優先事業として掲げております少子化対策に資する「出会い」、「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」の4つのステージ毎の総合的な支援につきましては、引き続き行なってまいります。また、多子世帯の支援として、第3子以降のお子さんが生まれた保護者の方へ経済的負担の軽減を図るための出産祝い金の支給や、また、第3子以降のお子さんが、保育園、幼稚園へ入園、小中学校へ入学される際のお祝い金の支給を引き続き実施して参ります。

また、大学進学等や就職のために市外へ転出した大学生等が、就職や転職等のため本市にUターンした場合に、奨学金の返還の負担軽減を図り、本市へのUターンを推進する高萩創成奨学金返還支援や、また、三世帯同居又は近居による子育て・介護の家族による助け合いを促すとともに、多子世帯における快適な住環境の構築を支援し、もって定住人口の増加を図るため、住宅取得経費の一部を補助する三世帯同居等世帯・多子世帯住宅取得支援を引き続き推進して参ります。

高齢ドライバー対策につきまし

では、身体機能や判断力の低下により運転に不安を感じている高齢者の自主的な運転免許の返納を引き続き支援していくとともに、交通弱者対策として、地域公共交通網形成計画による山間部及び市街地交通空白地域における新たな交通システム確立に向けての実証実験等を進めて参ります。

結びに、市長として努めてきた4年間、震災からの復旧・復興、高萩の創生に向けて邁進して参りました。今後も引き続き、「市民のために、市民とともに、責任ある行政」の理念のもと、公約として掲げております3つの柱「安全な街づくり」「安心な街づくり」「活力ある街づくり」に沿った施策を着実に推進して参る所存であります。市民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

